

平成27年6月3日

香川県ダンススポーツ連盟 会長 戸高謙治

タイトル 「香川県ダンススポーツ連盟の歩み」

サブタイトル 「夢が叶った地元選手のオナーダンス」

香川県ダンススポーツ連盟です。本連盟は、登録会員150名・登録サークル8の小規模な組織で平成19年11月に設立しました。本部・西部ブロック・近隣の県連等のご指導・ご協力を賜りながら、本年3月までに第5回の競技会を無事終えることができました。『競技会開催のうれしさ・運営についての不安・ミスを少なくという緊張感の中で迎えた第1回競技会。東日本大震災1週間後で開催が危ぶまれた第2回競技会。D級とC級に2区分制を取り入れて実施した第3回競技会。263エントリーとたくさんの選手に参加していただいた第4回競技会。』と、どの競技会もさまざまな課題を抱えていましたが、その都度適切な御助言をいただき、無事に乗り越えることができました。競技会を重ねる度に運営の難しさを痛感してきましたが、また一方で、「いつか地元選手にオナーダンスを・・・」という思いも大きく膨らんでいきました。

この思いが第5回香川県ダンススポーツ競技会においてやっと叶いました。地元、前川組のB級スタンダード優勝です。白と紫色のドレスに身を包み、軽やかに華麗にオナーダンスのワルツを舞っていただきました。優勝の裏には、日々のたゆみない練習があったかと思えます。初めての地元選手の活躍に、オナーダンスの声援の拍手もひときわ大きかったように感じました。

連盟設立からはや8年目です。発足当時、公民館活動等でダンススポーツを楽しんでいらっしゃった方も、いつのまにか体調を崩されたりご家庭の都合でダンスを離れたりする方が増えました。一方、若い方はフラダンスやヒップホップなどの1人で楽しめるダンスに進まれる方が多く、ダンススポーツから足が遠のいているように思います。しかし、今回の「前川組の優勝」を機に、「新しい風」が吹きはじめたように感じます。社会的な高齢化の波をも味方につけ、2人で作り上げるダンススポーツの素晴らしさを皆様にお伝えするきっかけができました。11月には「香川県ダンススポーツ交流会」を実施して、かがわ文化芸術祭に参加する予定です。その時に今回の栄誉を会場の皆様にお伝えすることで、「新しい風」の勢いが高まるものと考えています。ダンススポーツは日々の暮らしから少し離れたところで「夢」を見せてくれます。いつもとは少し違うドレスアップ・メイク・髪飾りが「夢」の入り口です。年齢に関係なく自分らしく手軽にできます。「夢」があることは次の「生きがい」につながります。香川県ダンススポーツ連盟も地元選手の優勝で元気を頂きました。新しい「夢」を追いかける勇気がわいてきました。

本連盟が追いかける次の「夢」は競技会でA級戦を開催することです。不安はたくさんありますが、新しいことに挑戦することは、本連盟の成長につながります。毎年3月中旬に競技会を開催しておりますが、選手のみならず一つでも思い出を増やしていただこうと、連盟スタッフ手作りの表彰台で表彰式をしています。また、3位までに入賞された方には、華麗なドレスで頑張った思い出をお手元にお届けできればと思い表彰式の写真をお贈りしております。A級戦を開催することにより、より高度なダンスとであうことができ、選手や見学の皆様によりご満足いただけるものと思えます。

小さな連盟ではありますが、皆様楽しんでいただけるよう、皆様のささやきからヒントを頂き、スタッフ一同全力で頑張っています。どうぞ、今後ともご指導をよろしくお願いいたします。